

山城の郷交流の館 デジタル体験設備整備に関する情報提供依頼（RFI）

令和8年6月25日

朝来市産業振興部観光交流課

第1章 情報提供依頼の概要

1 目的

朝来市は、国史跡「竹田城跡」の魅力をもっと多くの方に体験・発信するため、竹田城跡の拠点施設である「山城の郷 交流の館」において、最新のデジタル技術を活用した体験型設備の整備を検討しています。整備の検討にあたり、民間事業者の皆様が保有する最新技術・サービス・製品等に関する情報を広く収集することを目的として、本情報提供依頼（RFI：Request For Information）を実施するものです。

なお、本 RFI は事業者の選定や契約を目的とするものではなく、今後の調達仕様の検討材料とするものです。

2 背景

竹田城跡は、「天空の城」として全国的に知名度が高く、年間多くの観光客が訪れる本市を代表する観光資源です。一方で、山頂に位置する史跡という性格上、身体的な理由等により現地への登城が困難な方も少なくありません。

また、竹田城は慶長5年（1600年）の廃城以降、建物に関する図面や史料が現存しておらず、城郭の建物を映像等で再現するためには、専門的な学術研究に基づく監修が不可欠です。これらを踏まえ、現地登城の補完および竹田城跡の歴史・価値の深掘りを目的とした、体験型デジタル設備の整備を検討しています。

3 設置場所

山城の郷 交流の館（兵庫県朝来市和田山町殿13番地1）

第2章 整備を検討している設備の概要

本市が検討している設備は、以下の3つのコンテンツを柱としています。

【コンテンツ①】イマーシブシアター（没入型映像シアター）

概要：竹田城跡の建物（天守閣・石垣等）を、城郭研究家の学術的監修のもとCG等で史実に基づき再現した映像を、大型スクリーンや全方位型の映像システムで放映する没入型シアター。

監修体制について：映像制作にあたっては、本市が別途依頼する城郭研究の専門家（建築史・城郭考古学）の監修のもと、史料・発掘調査成果等に基づいた学術的に裏付けのある映像を制作することを前提とします。事業者には、監修者との協議を経た映像制作・実装の技術的な実現を担っていただきます。

想定する体験：来館者が戦国時代の竹田城跡の姿を、まるでその場にいるかのような臨場感で体験できること。

求める情報の例：

- 史料・発掘調査成果が限られる場合における、学術監修者との協議を前提とした CG・VFX 等の映像制作の手法・実績
- スクリーン・プロジェクター等の投映システムの仕様・規模感
- コンテンツの更新・追加に要するコストの目安

【コンテンツ②】バーチャル登城システム（ユニバーサルツーリズム対応）

概要：高齢者・障がいのある方・小さなお子様連れの方など、現地への登城が困難な方でも、デジタル技術によって竹田城跡への「登城体験」ができる設備。

想定する体験：

- VR ヘッドセット、大型モニター、またはプロジェクション等を活用し、実際の登城ルートを疑似体験できること。
- 竹田城跡ならではの絶景である「雲海」についても、天候・季節・時間帯等の条件が重ならなければ現地では体験できないことから、雲海に包まれた竹田城跡の幻想的な景観をデジタルで再現・体験できること。季節（春の桜・秋の紅葉・冬の雪景色等）や時間帯の変化も体験できることが望ましい。

求める情報の例：

- VR・AR・MR 等の各方式の特性と、ユニバーサルデザインへの対応状況
- 車いす利用者・高齢者等が安全・快適に利用できる操作インターフェースの提案
- 実写映像（ドローン空撮等）と CG を組み合わせたコンテンツ制作の事例
- 雲海・気象現象等の自然現象をリアルに再現するための技術・手法
- 機器の耐久性・メンテナンス体制

【コンテンツ③】竹田城跡 総合デジタル解説システム

概要：竹田城跡の歴史・構造・石垣の特徴・発掘調査の成果等を、インタラクティブなデジタルコンテンツで詳しく学べる解説設備。

想定する体験：タッチパネル式の大型ディスプレイや、AR 技術を活用した展示等により、子どもから大人まで楽しみながら竹田城跡を深く知ることができること。多言語対応（英語・中国語・韓国語等）が可能であること。

求める情報の例：

- インタラクティブコンテンツ（タッチパネル・AR 等）の内容
- 多言語対応の方法
- コンテンツの追加・更新の容易さ（CMS 等の活用）

第3章 情報提供依頼事項

上記3つのコンテンツについて、それぞれの**求める情報の例**に加えて貴社の技術・製品・サービスに関する以下の情報をご提供ください。

提供いただきたい情報：

- ① 類似施設（歴史・文化財・観光施設等）における導入事例（施設名・概要・導入効果）

② 本市の検討内容に対応可能な場合の、概算費用（初期導入費・年間維持管理費）

③ 導入にあたっての必要条件（設置スペース・電源・通信環境等）

その他提供いただきたい基本情報：

① 貴社の基本情報、実績等及び提供可能な技術・製品・サービスの概要

② 史料・図面が残存しない城郭の映像再現にあたり、学術監修者との協働実績または対応可能性

③ 本市の検討内容に対する提案・アドバイス・懸念事項等（自由記述）

第4章 情報提供の手続き

1 参加資格

本 RFI への参加資格は特に設けません。デジタル技術・映像制作・XR（VR・AR・MR）・展示設備等に関連する技術・製品・サービスを有する事業者であれば、どなたでもご参加いただけます。

2 情報提供の方法

提案資料の記載様式は、A 4 判とし、日本語により作成の上、組織名、担当者名、担当者連絡先を記載してください。また、Microsoft Office または PDF 形式にて作成しご提出ください。様式に定めのない事項については、貴社の任意の資料（パンフレット・事例集等）を添付いただいても構いません。

3 本 RFI に関する質問について

① 質問の受付方法

本 RFI の内容に関してご不明な点がございましたら、電子メールにてお問い合わせください。

なお、電話等による口頭でのご質問はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

② 質問の提出先

朝来市産業振興部 観光交流課 E-mail : kankou@city.asago.lg.jp

③ 質問の受付期限 令和8年7月24日（金）16時45分まで

④ 質問への回答方法

ご質問に対する回答は、質問者を特定できる情報を伏せたうえで、質問内容および回答を朝来市公式ホームページに掲載することにより、本 RFI への参加事業者全員に対して公平に情報提供いたします。個別の回答はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

⑤ 留意事項

- 回答の掲載時期は、受付期限後3日程度を目安とします。
- 質問の内容によっては、回答できない場合があります。
- 掲載した回答内容は、本 RFI 書類の一部を構成するものとします。

4 提出期限 令和8年7月31日（金）16時45分まで

5 提出先・問い合わせ先

朝来市産業振興部課観光交流課 担当：中嶋 大介

TEL : 079-672-4003 E-mail : kankou@city.asago.lg.jp

6 説明会

本 RFI に関する説明会は、実施しません。

第5章 その他留意事項

- 本 RFI は、情報収集を目的とするものであり、調達・契約を確約するものではありません。
- 情報提供に要する費用は、提供者の負担とします。
- ご提供いただいた情報は、本事業の検討目的以外には使用いたしません。
- 本 RFI への参加の有無は、今後実施する調達手続きにおいて有利・不利に影響するものではありません。
- 情報提供いただいた事業者に対し、後日、資料等の内容について照会又は追加資料の提供を依頼する場合があります。
- ご提供いただいた情報に対して、個別の回答はいたしかねます。

デジタル体験設備整備予定箇所

